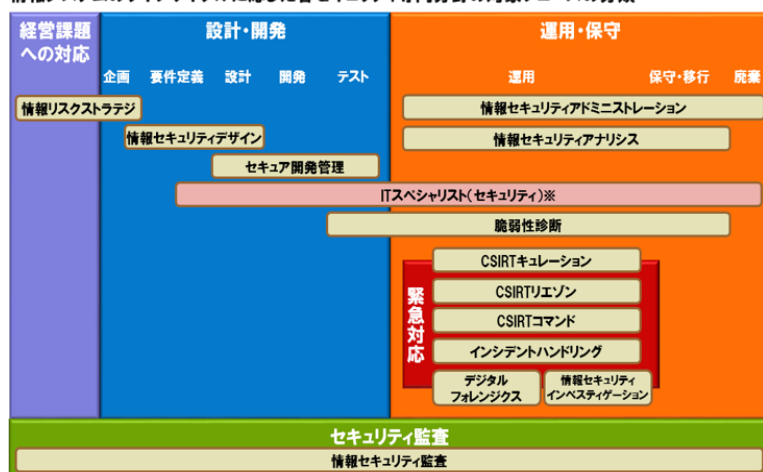


○セキュリティ領域のイメージ

領域	セキュリティ領域												
	情報リスクストラテジ	情報セキュリティデザイン	セキュア開発管理	脆弱性診断	情報セキュリティアドミニストレーション	情報セキュリティアナリシス	CSIRTキレクション	CSIRTリエゾン	CSIRTコマンド	インシデントハンドリング	デジタルフォレンジクス	情報セキュリティインベスティグレーション	情報セキュリティ監査
レベル7													
レベル6													
レベル5													
レベル4													
レベル3													
レベル2													
レベル1													
登録セキスペ 想定業務	経営課題	設計・開発		運用・保守			緊急対応						監査

<情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）との関係>

情報システムのライフサイクルに応じた各セキュリティ専門分野の対象フェーズの分類



= 情報処理安全確保支援士  
（登録セキスペ）の想定業務

サイバーセキュリティに関する専門的な知識・技能を活用して企業や組織における安全な情報システムの企画・設計・開発・運用を支援し、サイバーセキュリティ対策の調査・分析・評価やその結果に基づく指導・助言を行う。

※ITスペシャリスト（セキュリティ）は、ITスキル標準及びITコンピテンシ・ディクショナリにおいて定義されている

○データサイエンス領域のイメージ

領域	データサイエンス領域		
スキル カテゴリ	ビジネス	データサイエンス	データエンジニアリング
レベル7			
レベル6			
レベル5			
レベル4			
レベル3			
レベル2			
レベル1			

<データサイエンス領域のタスク構造>

